

竣工によせて

木現しによる木造耐火建築モデルを目指した「京都木材会館」が竣工の運びとなりました。此れもひとえに組合員の皆様のご理解とご協力、関係施工者のご尽力、関係官庁のご指導の賜物と衷心からお礼申し上げます。

当事業では、京都地域産材を数多に用い地域の設計者、地域の施工者、地域の材木供給者の協働により、純木造耐火4階建て建築物を実現いたしました。

木造化・木質化の取組みといたしましては、木現し耐火部材によるラーメン構造を取り入れ、1・2階の柱には木現し耐火部材を採用、特に1階の主要柱には国内初の2時間耐火部材が採用されております。内外装におきましても京都産杉・檜をふんだんに使い、1階ギャラリーは吹抜けで天井から北山丸太が林立し、来館者に木漏れ日の空間を味わっていただけます。また、外装には防火処理を施した木製ルーバーを用い木質の意匠を凝らしております。

新木材会館は京都市の中西部に位置し、かつて材木問屋が活況を呈した千本地区で歴史と伝統のある地に会館が誕生したことは、京都木材業界の新たなる一步を踏み出していくことと存じます。この京都の地に、新木材会館を「都市建築木造化モデル」として、木材利用の拡大へ向け効果的な波及が及ぶことを願っております。

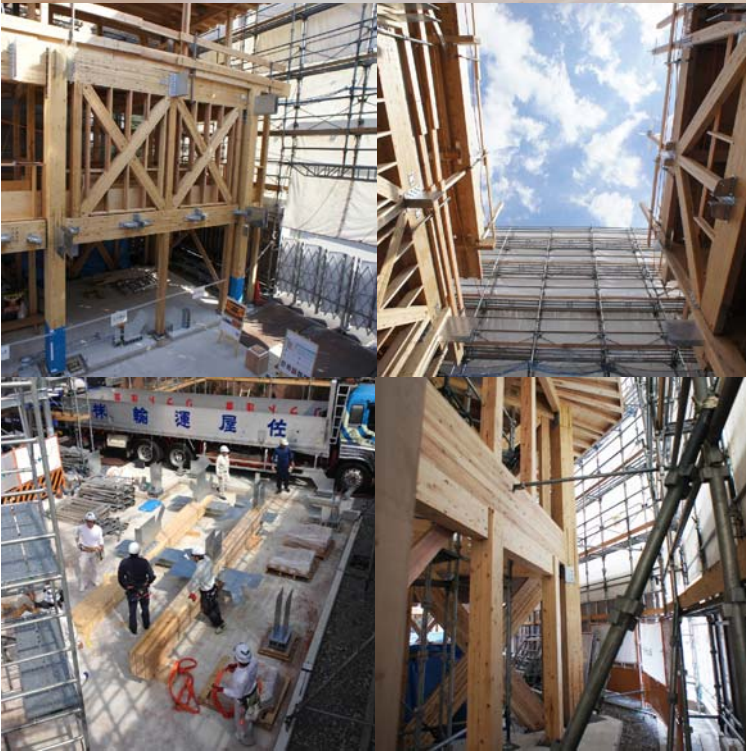


京都木材協同組合理事長 乾康之助

京都木材会館 京都地域産木材による



京都木材協同組合
〒604-8411
京都市中京区西ノ京小倉町138番地
TEL:075(811)0147/FAX:075(822)3068
URL: <http://www.kyomokyo.com/>
E-mail: ks@kyomokyo.com



■組合沿革
京都府史によると、明治43年10月25日同業組合法により、196名の木材業者によって京都材木商組合が結成された、それ以前の任意組合時代の消息を知る資料が無く、京都材木商組合が今日の京都地区木材組合の前身と推定されている。

昭和24年 「中小企業等協同組合法」が制定される。
昭和25年 5月 京都市木材協同組合設立 京都市中京区壬生御所ノ内町
初代理事長 内藤清次郎 組合員274名。

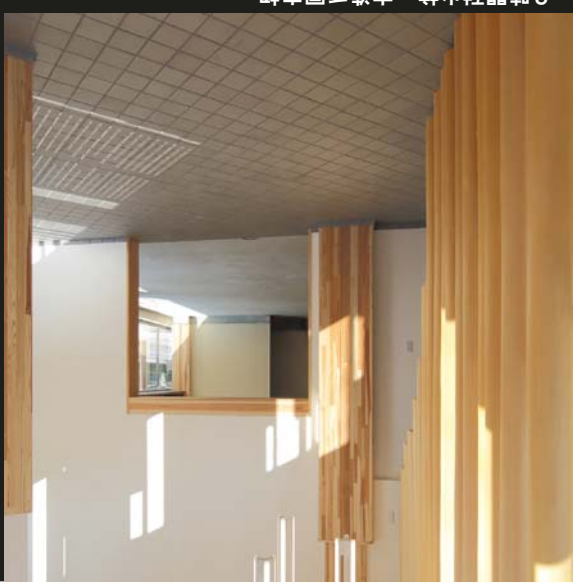
昭和52年 5月 組合事務所を西ノ京小倉町に移転。
平成 7年 4月 京都市木材協同組合、京都木材仲買協同組合、京都市製材協同組合の
三組合が合弁 京都木材協同組合設立、初代理事長 竹内茂行 組合員310名

平成22年10月 組合創立60周年・三組合合弁15周年記念式典挙行。
平成25年 1月 プロポーサルにより設計者を選定。
平成26年 8月 平成26年度木造建築技術先導事業に採択される。
平成27年 2月 解体工事着工。仮事務所に移転。
平成27年 4月 地鎮祭挙行。
平成27年10月 全国に向け構造見学会を開催。
平成28年 3月 建物竣工引渡し。

■会館建替実行委員会
委員長 浅岡 正義 (会館管理運営企画委員長)
委員 乾 康之助 (理事長)
委員 若山 貴義 (副理事長)
委員 堀井 誠史 (副理事長)
委員 藤田 剛士 (副理事長)
委員 辻井 毅 (副理事長)
委員 菅原 明雄 (会館管理運営企画委員)
委員 小畑 春男 (会館管理運営企画委員)
委員 奥田 辰雄 (会館管理運営企画委員)

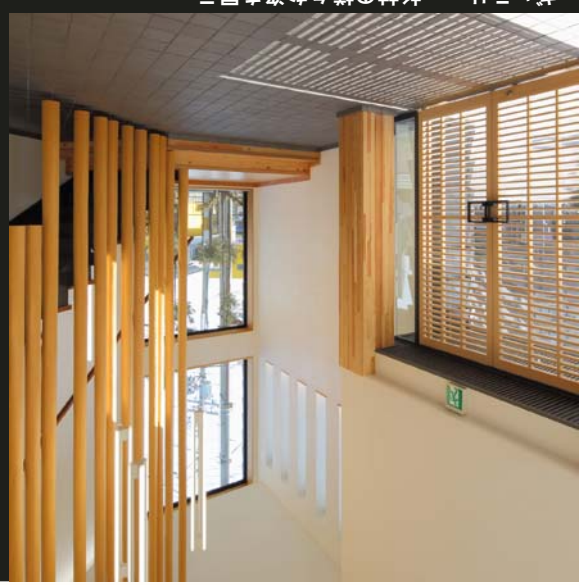


1階の主要柱6本は(株)シエルトが開発した全国初の2時間耐火認定を使用。様々な機能が積層する複合ビルの土台を地震だけでなく火災からもしっかり守ります。



2時間耐火柱～木造で国内初～

キヤロリー～杉材の様々な姿を展示～
キヤロリーを見渡すと、坪庭の台杉(植わっている状態)、北山磨丸太のルーバー(切り出して磨いた状態)、耐火柱の表面材(集成材に加工した状態)と、杉材の様々な表情を一度に体験することが出来ます。



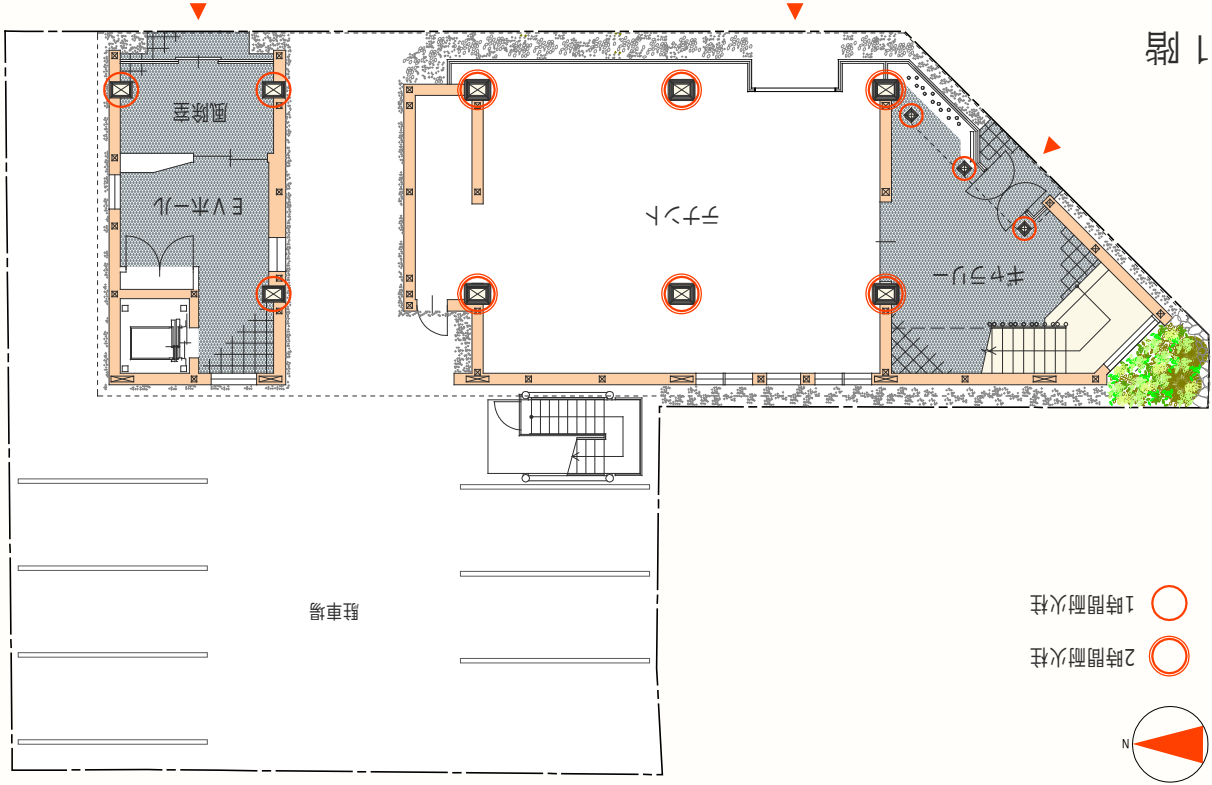
木製可動ルーバー～都市の中の杉木立～
道路面を待長ける木製可動ルーバー(杉無垢材)は、京町家の格子に着想を得つつ、現代の設計技術による木割に掬われない自由な寸法で計画しています。制作は社寺建築の建具も手がける荒川木工に依頼しました。



木製ルーバーと会議室木板貼の饗宴
外部の木製ルーバーで散乱した光が、さらに会議室内の凹凸のある壁面に陰影を落とし、時間や季節の移り変わりが静かに内装の一部に溶け込む仕掛けを考えました。

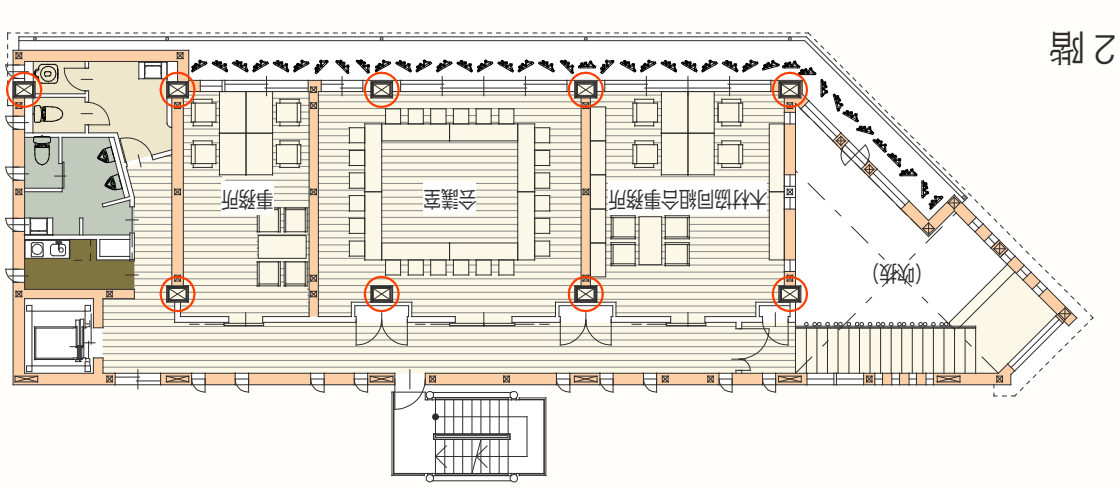


木材のジョイントを兼ねた「まちなかの森」
道路からはガラススクリーン越しに木あらかわしの耐火柱、北山丸太のルーバーが見え、会館に一歩足を踏み入れると様々な木材の表情に出会えます。

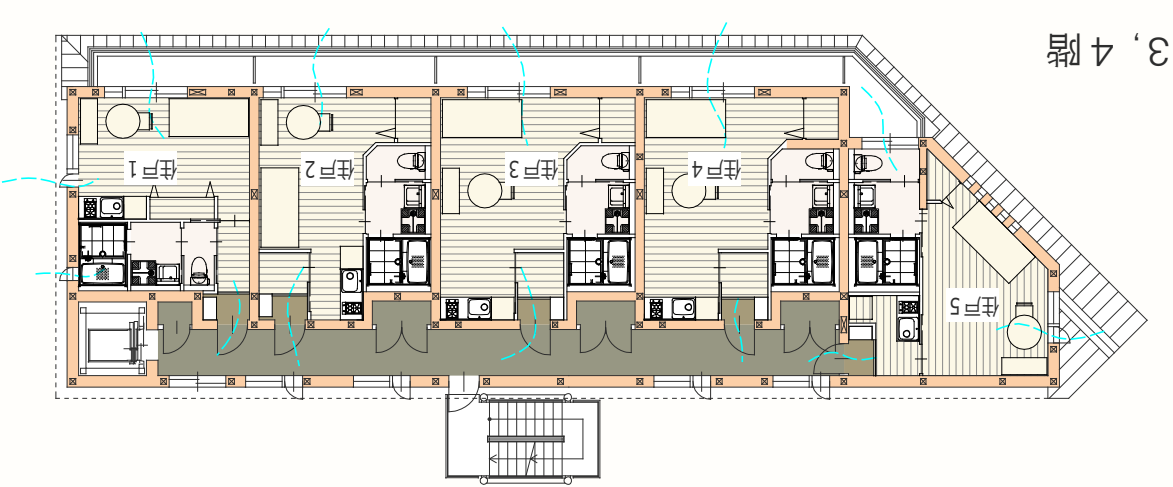


- 平成26年度木造建築技術先進事業採択プロジェクト
- ・木あらかわし耐火部材によるラーメン構造(1, 2階に適用)モジュールプロジェクト。
- ・耐火上重要な柱に国内初となる2時間耐火部材を使用。(認定番号FP120CN-0560)
- ・中高層4階建て純木造建築を、京都の木材を使い、地域の設計事務所、工務店により実現。
- ・構造材は京都産杉・檜を100%使用(ラミナ材で304立米/集成材で134立米)
- ・京都の景観条例に適合する新しい京都の木造デザインを創出。
- ・地域に根差した木造耐火プロジェクトとして、全国の参考となることが期待されています。

内外共に「木」に包まれたオアシス空間
窓に面した木製ルーバーは部屋内から角度を調整でき、季節や天候による環境調節が可能です。



「京町家」の特徴を取り入れた共同住宅
玄関戸にはラミネートに配慮しつつ通風も確保できるタイプを採用しました。部屋内の窓と合わせて京町家の特長である風の通り道を計画しています。



■建物概要
 主要用途 事務所、店舗、共同住宅
 敷地面積 49.10㎡
 延床面積 754.50㎡
 最高高さ 13.73m
 最大h^h 5.40m
 階数 地上4階
 構造 木造(耐火構造)
 用途地域 準工業地域
 防火地域 準防火地域

設計監理 株式会社ゆう建築設計事務所
 工 吉村建設工業株式会社
 株式会社竹内工務店